

令和4年度 1学期終業式 式辞

みなさん、こんにちは。校長の張能です。

今年は、梅雨が短く、開けたと同時に、猛暑が続き、体調を崩した人も多かったのではないのでしょうか。このような中で、新型コロナウイルス感染者数は、7月に入ってから、増加してきています。大切なことは、今まで行ってきた感染予防対策を継続することです。また、この記録的な猛暑が続いたことを念頭に、熱中症予防にも気を配り、マスクの着用方法を考えることも大切です。マスクの着用は、基本的な感染防止対策として重要ですが、屋外では、人との距離を2m以上を目安に離れているときや、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はないと言われています。ただし、公共の交通機関を利用するときや病院に行くときなど、その時の状況に合わせて、マスクをつけるようにしましょう。四街道高校の感染予防一日のルーティーンを再確認しましょう。そして、スタディサプリの健康調査の入力も忘れずに行ってください。

さて、明日から夏休みになります。このあと、担任の先生から、みんなに通知表が渡されます。自分も、この通知表をもらう時は本当に嫌でした。特に、高校生の頃は、成績、数字、順位だけが気になっていました。しかし、大切なのは、どうしてこのような結果になったのか、このことをしっかりと受け止めて、自分が改めていかななくてはならないことやさらに得意なことをより一層伸ばしていくためにはどのようなことをすればよいか考えることがことではないのでしょうか。実際にはなかなかこのような考え方に至るには難しいかもしれませんが、このことを土台として、夏休みの計画を考えると、有意義な夏休みを過ごすことにつながると思います。

自分が、高校生のとき、テレビに出ていた予備校の先生が次のようなことを話していたことを覚えています。それは、次のような話でした。

「受験生のみんなは、今取り組んでいるのは『勉強』と言われるものです。英単語を覚えたり、数学の公式を覚えたり、入学試験に合格することを目的で取り組んでいることです。勉強は、読んで字のごとく、『つとめる、しいる』という言葉になります。いわば、強制されて行っているということになるかも知れません。しかし、社会に出ていくためにこれから学んでいくことは、『学問』に取り組むということになります。これは、『まなび、とう』という言葉になります。自分で知りたいこと、興味あることにとりくんでいくことになります。」

たしか、このような内容でした。このはなしを聞いたのは、40年以上も前の事になりますが、今でもものすごい印象が残っています。

将来、自分の持っている力を最大限に発揮して、基礎基本をしっかりと身に付けることが、将来、社会で自分の力を発揮できることにつながるのです。

高校時代に自分の興味・関心のあることを見つけて、卒業後の進路選択をしっかりと考え、それに則した『学問』を行えるように、しっかりと準備しておきましょう。

さて、それぞれの学年によって、この夏休みの過ごし方は違ってくると思います。

3年生の皆さんは、この夏休みは進路を考える大事な時期になります。それぞれの進路を実現するためにどうしたらよいか考えていきましょう。高校卒業後の進路でその後の人生が全て決定するわけではありませんが、長い人生の中で大きな選択をする大切な時期であるといえます。しっかりと自分と向き合う時間を作ってください。

2年生の皆さんは、中間学年として、学校の中心となっていく時期です。2学期は、たくさんの学校行事が予定されています。えのき祭、体育祭など、感染予防対策をしっかりと考えて、できることを行っていきましょう。昨年、えのき祭は、1年ぶりに行い、形式も大幅に違った形でした。このことを土台に、今年はまた、より良いものにできるように、昨年の経験を生かしてほしいと思います。また、10月30日から11月2日まで修学旅行が計画されています。高校生活の思い出になるよう、しっかりと計画を立てて、充実したものにしていきましょう。

1年生は、高校になって初めての夏休みになります。まだまだ、時間があると思っている人も多いでしょう。時間は誰にでも等しく与えられています。逆に、限られた時間をいかに有効に使うことができるか、これも大切なことです。高校卒業後の進路を考えると、1学期を振り返って、ごく身近な目標を考えることも大切です。1学期、あまり理解ができなかった科目や、一生懸命に取り組んだ科目が自分が考えていたほど高い評価ではなかったなど、不得意な科目に取り組むことはとても大切なことです。普段、時間がなくて読むことができなかった本を読むことや、部活動に取り組むこともいいでしょう。なにか、この夏休みに自分は一つのことをやり遂げたとみんなに言えることをやってみましょう。

最後に、鍵山秀三郎さんの話をみなさんに贈ります。この人は、自動車関係の会社「イエローハット」の創業者です。それは、このような話です。

「芸術家のミケランジェロは、『最大の危機は、目標が高すぎて達成できないことではない。目標が低すぎて、その低い目標を達成してしまことだ』と述べています。失敗することや高い目標が達成できないことが問題ではありません。失敗から学ぶことが、次の成功へのエネルギーになるのです。大きな目標を設定すれば、大きな壁が立ちはだかりますが、その壁を乗り越えることが大切なのではなく、どのようにすれば、克服できるのか考えることが大切なのです。つまり、日々、いろんな人や書物から学んで、それを自分の血や肉にしていくことです。」

どうでしょうか？

みんなは、自分の目標が達成できないと、その原因を自分の取組ではなく、何か他のことに責任転嫁している部分はありませんか？鍵山さんが話している通り、できないことが問題ではなく、あきらめてしまうこと、何かできない理由を他に求めることがダメなんではないでしょうか？

40日近くある長い期間を有効な時間となるよう、しっかりと目標を考え、その目標を達成するためにしっかりとした計画を立てていきましょう。

2学期に元気な姿で会えることを楽しみにしています。